

出演：ミラノ大聖堂聖歌隊
真言宗青教連法親会

【真言宗声明】

にわのさん さん げ しょうれい
庭讃 散華 唱礼 ほか

【グレゴリオ聖歌(ミラノ大聖堂聖歌隊)】

主の讃歌：エテルネ・レルム・コンディトル

クリスマスのアレルヤ唱

アレルヤ-幼子が私たちのために生まれた

クリスマスの詠唱：歡び称えあおう ほか

【グレゴリオ聖歌 & 真言宗声明 コラボステージ】

ろ じ の げ
「露地偈」& 交唱

異邦の者がわれに逆らいて立ち ほか

※曲目は変更になる場合がございます。
あらかじめご了承ください。

東西の祈りがひとつに。

音楽の融合が呼び起こす圧倒的感動！

グレゴリオ聖歌 声明

2014年 **11月28日(金)** 開演 PM6:45
(開場 PM6:00)
愛知県芸術劇場コンサートホール

S席 ¥7,500 A席 ¥5,000 B席 ¥4,000 学生 ¥3,000 (税込)

学生券

ご希望の方は往復ハガキに、希望公演名、公演日時、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学籍番号を明記の上、中京テレビ事業「学生券」係までお申込みください。公演の3週間前に抽選の上、お席をお取りできるか否かご連絡致します。往復ハガキ1枚につき、1公演1名様をお願い致します。

公演に関する
お問合せ

中京テレビ事業 ☎052-957-3333

〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F (月～金 AM10:00～PM5:00/土・日・祝日休業)

●未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。

7/5 (土) AM10:00～発売開始！

主 催：中京テレビ放送

チケット販売所

中京テレビ事業 チケットセンター
チケットぴあ (Pコード：235-088)
ローソンチケット (Lコード：48749)
愛知芸術文化センターPG
栄プレチケ92
イープラス
名鉄ホールチケットセンター
名古屋市文化振興事業団チケットガイド
中日サービスセンター
セブン-イレブン店頭 (セブンコード：031-841) 他 有名プレイガイド

052-320-9933
0570-02-9999
0570-084-004
052-972-0430
052-953-0777
eplus.jp
052-561-7755
052-249-9387
052-263-7282
有名プレイガイド



インターネットからも
お申込み頂けます。



<http://www.e-get.tv/>



ミラノ大聖堂聖歌隊

Cappella Musicale del Duomo di Milano

ミラノ大聖堂聖歌隊は、大人20名と子ども35名で編成されている聖歌隊であり、ミラノで最も古い文化団体です。その起源は、14世紀末の大聖堂建立が始まった時まで遡りますが、その音楽活動は、11世紀以前のポリフォニー音楽が出現する前のミラノ司教座大聖堂学校から始まります。そして現在に至るまで、一度もその音楽活動は途切れた事はありません。

何世紀にも渡る長い歴史を通し、数多くのすぐれた指揮者、オルガン奏者を輩出しています。マッテオ・ダ・プラト、マッテオ・ダ・ペルジャ(両者とも1394年に任命されたオルガン奏者)、1402年に最初に任命された指揮者フランキーノ・ガッファリオ(作曲家、音楽理論家、人文主義者、詩人としても優れていた)、17世紀のミラノを代表する作曲家ミケランジェロ・グランチーニ、同時代のヴィンチェンツォ・ペレグリーニ、ジョヴァンニ・アントニオ・グロッシ、そして、18世紀の音楽を生んだジョヴァンニ・アントニオ・フィオリニ、ジュセッペ・サルティ、カルロ・モンツァ、アゴスティーノ・クワリーヤ、そして宗教音楽の危機の時期に伝統を守りながら優れた音楽を生み出したベネデット・ネーリ、ライモンド・ブケロン、サルヴァトーレ・ガロッティ、宗教音楽に新風を送り込み1998年まで聖歌隊の指揮者であった指揮者ルチアーノ・ミリアヴァッカなどがそうです。

ミラノ大聖堂聖歌隊は日頃から過密スケジュールで活動を精力的に行っており、毎週日曜日のミラノ大聖堂のミサ、数多くの公的文化行事、宗教行事に参加しています。その実力、地位は高く評価され、それ以外に、イタリア国内各地での演奏活動や重要な国際音楽祭での演奏活動を行っています。

コンサートは、子どもが加わる場合もありますが大人のみの編成で行われることが多く、2014年の来日も大人のみのです。

グレゴリオ聖歌

8世紀の終りごろ生まれたとされる、ローマ・カトリック協会で用いられる単旋律・無伴奏の典礼音楽。グレゴリオ聖歌の旋律は教会旋法と呼ばれる音階でつくられているが、相対的な音高の関係は示されていない。天上に舞い上がるような、あるいは天から舞い降りるような旋律の祈りの音楽。

クラウディオ・リヴァ (指揮)

Claudio Riva

ミラノ出身。ミラノのジュセッペ・ヴェルディ音楽院でオルガンとオルガン音楽の作曲をルイジ・ベネデッティ教授に学ぶ。その後、グスタヴ・レオンハルト、トン・コープマン、ジャン・ラングレに学ぶ。

ジュセッペ・ヴェルディ音楽院卒業後、ミラノのドゥオモ大聖堂聖歌隊の副オルガン奏者として活動を始め(同時にイタリア、そして海外でオルガン奏者、他の合唱団と合奏団のメンバーとして演奏活動をしていた)、1998年10月には、ルチアーノ・ミリアヴァッカ大司教の後任として、ミラノのドゥオモ大聖堂聖歌隊の主任指揮者に任命される。

2005年には、アンブロジオ宗教音楽(グレゴリオ音楽)聖歌隊の指揮者に任命される。

ミラノ大司教管区の宗教音楽評議委員会の評議委員でもあり、現在、セヴェソのマルス神音楽院でアンブロジオ宗教音楽を教えている。また、ミラノのドゥオモ大聖堂に所属する聖歌隊学校・フランキーノ・ガッファリオでも子ども達に音楽を教えている。

真言宗青教連法親会

一味和合に結集した福岡の真言青年僧たちを中心に、弘法大師の御教えを“学び”・“育み”・“伝える”を目的とする賛同者が九州各地より集まり、平成5年、『法親会』が結成された。

密教の教えに加え、日本の数々の伝統文化を学ぶことも、日々の研鑽に積極的に取り入れてきた。

主な活動には、弘法大師ご帰朝1200年を記念しての高野山奥之院での世界平和祈念法要や、福岡西方沖地震後の震災復興を祈念した能古島での柴燈大護摩供の厳修、一会六座土砂加持法要や、別格本山東長密寺五重塔落慶記念事業出仕などがある。

また、日本芸術院会員梅若玄祥氏の新作能への出演、和太鼓の世界的エンターテイナーであるTAOとの共演では、真言声明の素晴らしさを披露して多くの人々を魅了した。

今、“祈りの時代”において、その先駆者として日々精進活動している。

声 明

現代において「聲明(しょうみょう)」という呼称は、仏教における伝統的な儀式音楽・声楽・歌謡を指す。インドに起源をもち、仏教儀礼において経典などを朗唱する際に旋律を付したもの。のちの日本の伝統音楽(平曲・謡曲、民謡、浄瑠璃など)に大きな影響を与えたといわれる。僧侶たちによる声明の朗詠は神秘的で幽玄に響き渡る。

